



2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月10日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL <https://www.shirohato.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）菅原 知樹
 問合せ先責任者（役職名）IR広報室長（氏名）中村 幸浩（TEL）075-693-4609
 半期報告書提出予定日 2025年10月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	2,693	△4.6	△82	—	△95	—	365	—
2025年2月期中間期	2,824	△7.6	△16	—	△33	—	△34	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年11月期中間期	54.84		—					
2025年2月期中間期	△5.24		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	5,394	2,570	47.6
2025年2月期	5,959	2,205	37.0

（参考）自己資本 2025年11月期中間期 2,570百万円 2025年2月期 2,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00			
2025年11月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は決算期（事業年度の末日）を毎年2月末日から毎年11月30日に変更しております。

経過期間である2025年11月期は9ヶ月決算となります。2025年11月期の配当は未定であります。

3. 2025年11月期の業績予想（2025年3月1日～2025年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,470	—	△57	—	△76	—	381	—	57.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2025年11月期は決算期変更により9ヶ月決算であるため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年11月期中間期	6,669,700株	2025年2月期	6,669,700株
--------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年11月期中間期	13,738株	2025年2月期	13,738株
--------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年11月期中間期	6,655,962株	2025年2月期中間期	6,655,962株
--------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

(1) 業績の状況

当中間会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調のなか、実質賃金の伸び悩みが個人消費を抑制し、回復ペースを鈍化させる傾向が継続しています。加えて円安や緊迫する国際情勢を背景とした輸入物価の上昇が、企業収益と家計の双方を圧迫しており、景気の先行きは依然として不透明な状況です。

Eコマース市場におきましては、市場規模の拡大が継続する一方、事業者間の競争は激化しており、価格競争から顧客体験(CX)の質を問うステージへと移行しています。また、インナーウェア市場におきましては、円安などを背景とした原材料価格の高止まりにより、依然として厳しい事業環境が続いています。そうした中、消費者の価値観は変化しており、心身の快適性や機能性、あるいはサステナビリティといった、自身のライフスタイルを豊かにする付加価値の高い商品への需要が一段と強まっています。

このような環境のなか、当社の国内Eコマース販売では、競合他社との価格競争に追従しつつ、仕入原価上昇分の価格転嫁を慎重に進めたものの、PB(プライベートブランド商品)の販売が伸び悩み、国内モールにおけるアクセス数が減少傾向となったことに加え、客単価は上昇したものの、購入件数で前年を下回った結果、売上高は前年同期比95.4%となりました。直営の本店サイトにおきましても購入件数、売上高とも前年を下回る結果となりました。

国内Eコマース販売におきましては、前事業年度より、一部の主力商品について日曜祝日の当日出荷を安定稼働させるなど、顧客サービスの更なる向上を続けております。加えて、本店サイトにつきましては2025年7月末にリニューアルオープンし、より利便性の高いショッピングサイトとして顧客の新規開拓に努めてまいります。

海外Eコマース販売では、前事業年度に進めた中国以外の東アジア圏向け展開により、売上高は前年同期比104.4%となりました。

商品区分別の販売におきましては、PBCB(プライベートブランド商品及びコラボレーション商品)の売上高構成比は27.1%となり、売上規模は前年同期に比べ微減となりました。

この結果、当中間会計期間における売上高は2,693,794千円(前年同期比4.6%減)、営業損失は82,376千円(前年同期は16,444千円の営業損失)、経常損失は95,338千円(前年同期は33,210千円の経常損失)、中間純利益は365,036千円(前年同期は34,895千円の間純損失)となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は、5,394,692千円となり、前事業年度末と比較して564,854千円の減少となりました。

流動資産は2,225,808千円となり、前事業年度末と比較して229,015千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加(前事業年度末より47,283千円増加)、商品の増加(前事業年度末より110,519千円増加)及び前渡金の増加(前事業年度末より64,432千円増加)によるものであります。

固定資産は3,168,883千円となり、前事業年度末と比較して793,870千円の減少となりました。その主な要因は、売却等に伴う建物(純額)の減少(前事業年度末より255,374千円減少)、土地の減少(前事業年度末より394,083千円減少)及び繰延税金資産の回収可能性について検討した結果に伴う繰延税金資産の減少(前事業年度末より123,312千円減少)によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は2,824,201千円となり、前事業年度と比較して929,891千円の減少となりました。

流動負債は2,191,158千円となり、前事業年度末と比較して256,341千円の増加となりました。その主な要因は、

短期借入金の増加(前事業年度末より200,000千円増加)、買掛金の増加(前事業年度より65,030千円増加)、未払法人税等の増加(前事業年度末より96,332千円増加)、及び1年内返済予定の長期借入金の減少(前事業年度末より93,980千円減少)によるものであります。

固定負債は633,043千円となり、前事業年度末と比較して1,186,232千円の減少となりました。その主な要因は、資金の借換えに伴う長期借入金の減少(前事業年度末より1,127,654千円減少)によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は2,570,490千円となり、前事業年度末と比較して365,036千円の増加となりました。その主な要因は、中間純利益の計上による利益剰余金の増加(前事業年度末より365,036千円増加)によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ47,283千円増加し、601,710千円(前事業年度比8.5%増)となりました。当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは151,724千円の減少となりました。

その主な要因は、棚卸資産の増加111,290千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,220,642千円の増加となりました。

その主な要因は、旧本社売却による収入1,280,440千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,021,634千円の減少となりました。

その要因は、長期借入金による収入681,000千円、短期借入金による収入200,000千円があったものの、長期借入金返済による支出1,902,634千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月30日に公表いたしました予想数値を変更しております。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	554,426	601,710
電子記録債権	455	-
売掛金	297,837	308,197
商品	1,049,776	1,160,296
貯蔵品	21,723	22,494
前渡金	4,937	69,369
前払費用	41,112	40,040
未収入金	25,122	22,212
その他	1,812	1,909
貸倒引当金	△411	△420
流動資産合計	1,996,793	2,225,808
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,741,075	2,282,313
減価償却累計額	△660,692	△457,305
建物(純額)	2,080,382	1,825,008
構築物	66,013	49,193
減価償却累計額	△35,156	△21,894
構築物(純額)	30,857	27,298
機械及び装置	744,337	744,337
減価償却累計額	△416,438	△443,504
機械及び装置(純額)	327,899	300,833
工具、器具及び備品	93,541	78,516
減価償却累計額	△78,085	△62,431
工具、器具及び備品(純額)	15,456	16,084
土地	1,291,928	897,845
有形固定資産合計	3,746,525	3,067,071
無形固定資産		
商標権	747	593
ソフトウェア	9,427	89,308
ソフトウェア仮勘定	75,742	-
無形固定資産合計	85,917	89,901
投資その他の資産		
出資金	810	810
差入保証金	5,141	5,154
敷金	810	760
破産更生債権等	2,602	1,124
長期前払費用	-	5,083
繰延税金資産	123,312	-
貸倒引当金	△2,366	△1,022
投資その他の資産合計	130,311	11,910
固定資産合計	3,962,753	3,168,883
資産合計	5,959,547	5,394,692

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	109,007	94,215
買掛金	167,155	232,186
短期借入金	1,200,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	128,030	34,050
前受金	6,050	-
前受収益	137	84
未払金	168,407	189,377
未払費用	49,715	52,222
未払法人税等	12,774	109,106
未払消費税等	33,361	12,918
預り金	3,312	13,731
契約負債	23,980	22,875
賞与引当金	27,665	24,486
その他	5,221	5,903
流動負債合計	1,934,817	2,191,158
固定負債		
長期借入金	1,760,416	632,762
長期末払金	3,859	-
繰延税金負債	-	280
その他	55,000	-
固定負債合計	1,819,276	633,043
負債合計	3,754,093	2,824,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,654	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,186,654	1,186,654
資本剰余金合計	1,186,654	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△179,266	185,770
利益剰余金合計	△177,766	187,270
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,205,453	2,570,490
純資産合計	2,205,453	2,570,490
負債純資産合計	5,959,547	5,394,692

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	2,824,440	2,693,794
売上原価	1,736,311	1,700,349
売上総利益	1,088,128	993,445
販売費及び一般管理費	1,104,573	1,075,821
営業損失(△)	△16,444	△82,376
営業外収益		
受取利息	4	19
受取配当金	17	17
受取手数料	192	226
債務勘定整理益	72	73
協賛金収入	13	363
受取補償金	180	89
賞与引当金戻入額	2,716	-
その他	218	285
営業外収益合計	3,415	1,075
営業外費用		
支払利息	12,978	13,542
アレンジメントフィー	5,000	-
その他	2,203	494
営業外費用合計	20,181	14,037
経常損失(△)	△33,210	△95,338
特別利益		
固定資産売却益	-	676,976
特別利益合計	-	676,976
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△33,210	581,638
法人税、住民税及び事業税	1,620	93,007
法人税等調整額	65	123,593
法人税等合計	1,685	216,601
中間純利益又は中間純損失(△)	△34,895	365,036

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△33,210	581,638
減価償却費	95,639	85,854
貸倒引当金の増減額(△は減少)	715	△1,335
受取利息及び受取配当金	△21	△36
支払利息	12,978	13,542
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△676,976
売上債権の増減額(△は増加)	△34,579	△6,560
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,685	△111,290
前渡金の増減額(△は増加)	5,108	△64,432
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,047	50,239
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,341	△3,178
未払金の増減額(△は減少)	△3,655	4,435
長期未払金の増減額(△は減少)	△17,092	△3,859
契約負債の増減額(△は減少)	387	△1,104
預り金の増減額(△は減少)	9,921	10,419
前払費用の増減額(△は増加)	16,608	△1,768
未払費用の増減額(△は減少)	12,931	9,490
その他	8,714	△10,231
小計	40,053	△125,154
利息及び配当金の受取額	21	36
利息の支払額	△11,686	△23,366
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,240	△3,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,149	△151,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,084	△2,581
無形固定資産の取得による支出	△30,573	△2,266
固定資産の売却による収入	-	1,280,440
その他	-	△54,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,658	1,220,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	681,000
長期借入金の返済による支出	△64,015	△1,902,634
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,984	△1,021,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128,475	47,283
現金及び現金同等物の期首残高	193,218	554,426
現金及び現金同等物の中間期末残高	321,693	601,710

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。